

「おとずれ山の会」だより

第 6 号

森づくりを楽しみながら、自然との共生や環境保全を考える

市有林“天羽田の森”の整備へ

おとずれ山の会は、このほど市原市天羽田地区の市有林の整備を受け持つこととなりました。すでに、同地区のジャックの森については、かねて当会が整備しておりますが、その近くにある1ha 余りのコナラなど広葉樹の森で、併せて、市当局と里山協定を結んだものです。かなり負荷も



かかりますが、作業を楽しみながら手入れを進めて良い森にしてゆきたいと思っています。(写真:まずは駐車場スペースを整備したところ)

学習塾イベントを支援 JACの森

5月20日、ジャックの森で行われたイベントの運営のお手伝いをしました(千葉学習塾協同組合の周年記念行事)。

オリエンテーリングや入浴剤利用のロケットの発射(写真)、皆既日食メガネ制作、竹コップづくりなど、子供たちは様々な課題に挑戦しました。



第9回里山シンポジウムに協力

“全体会”は5月27日、望洋高校講堂で
4月～5月は小湊線沿線“小さな旅”6プラン

ことしの里山シンポジウムが市原を主会場にして行われ、おとずれ山の会は、市原里山交流会をベースに、その企画・運営に協力しました。テーマは「里山の魅力・力発見ー中



房総の原風景を支える底ヅカラ」。「小さな旅」では「菜の花の里山を歩く、波の伊八に出会う旅。飯給ー里見ー高滝コー

ス」を担当し、60 名の参加者を案内しました。(写真はダイチョウの前で参加者全員集合)

また、全体会では、小さな旅の報告会のほか、北川フラム氏の講演や遠山あき・林秀一・佐久間隆義各氏によるパネルディスカッション等が行われました。

刈払機取り扱い 安全技術講習会

刈払機の取扱いを中心にした安全技術講習会が、7月11日、ジャックの森で行われました。馴れによってややもすると油断しがちな刈払い作業を見直し、安全にさらに万全を期そうとするものです。講師は林業サービスセンターの木村氏。受講者は女性 5 名を含む 18 名。

ワイヤーで間伐材の移動

除間伐材の整理に戦力

林内に放置してある除間伐材の移動に、ワイヤーと“特製滑車”(会員の永峰さん制作)が威力を発揮しています。思いのほか効率が良いので、作業員のほうが煽られて、大汗をかいてしまします(写真)。ま、ゆっくりじっくり進めましょう。



* 年内の主な予定 *

10月11日(木) 定例活動 おとずれの森(刈払い、竹メシ、ログ台)

10月 13 日(土) 東国吉里山見学 (有志)

10月13・14日(土・日) エコフェスタ 長柄(パネル展示)

10月25日(木) 定例活動 おとずれの森(刈払い、イベント準備)

11月 8 日(木) 定例活動 天羽田(刈払い)

11月23日(金祝)「森林浴と里山体験」おとずれ (参加募集中)

12月 13 日(木) 定例活動 おとずれの森

12月20日(木) 定例活動 おとずれの森

〒290-0255 千葉県市原市光風台4-280

発行：おとずれ山の会 代表:高橋順子

編集：監事(世話役)高橋和靖 Tel0436-36-3773

E-mail:kjtaka@kba.biglobe.ne.jp

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~kofuwinds/> (更新しました)